

令和4年度
小学校教育課程編成の手引
【各教科等編】

道徳科における
1人1台端末を活用した
「個別最適な学びと協働的な学び」

北海道教育委員会

道徳科における 1 人 1 台端末を活用した 「個別最適な学びと協働的な学び」

1 題材の概要

学 年：第 6 学年

主 題 名：「友だちとは」（内容項目 B (10) 友情、信頼）

教 材 名：「コスモスの花」（光村図書「道徳6 きみが いちばん ひかるとき」）

本時のねらい：友だちが称賛されていることを快く思えない「ぼく」の姿を通して、友だちとはどんな存在なのかについて考えさせ、互いを尊重し合う健全な友だち関係を築いていこうとする心情を育てる。

2 事例におけるICT活用のポイント

- ・「自分ならどうするか」という観点で道徳的価値と向き合ったり、自分とは異なる意見をもつ友だちと議論したりする学習活動において、端末で他者の考えを知り、共有することにより、多面的・多角的に考えを深めることができます。
- ・他者との議論を踏まえて、改めて自己を見つめるなど、多面的・多角的な思考を促す学習活動において、端末に自己の生き方について考えを入力し、全体で共有することにより、道徳的価値を自分自身との関わりの中で深めることができます。

3 使用したソフトや機能

- ・プレゼンテーションソフト
- ・学習支援ソフトのファイル共有機能

【参考資料】

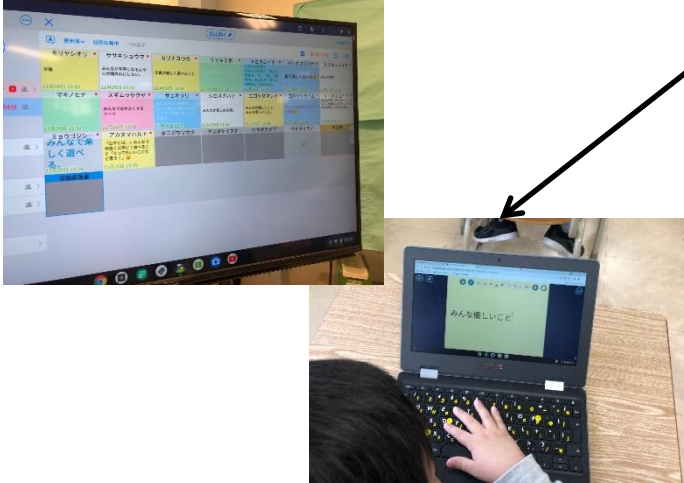
- ・ StuDX Style
各教科等における 1 人 1 台端末の活用
各教科等での活用〔小学校 特別の教科 道徳・事例〕（文部科学省）



道徳科における1人1台端末を活用した 「個別最適な学びと協働的な学び」

4 1人1台端末の活用例

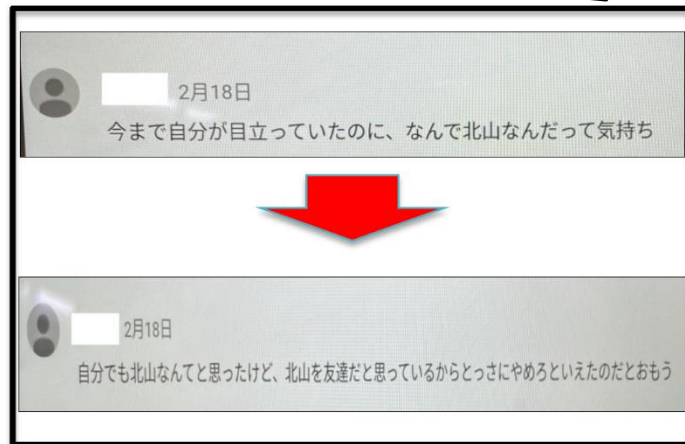
【ICTの活用場面①】



〔道徳的価値を多面的・多角的に考える〕

- ・「自分の考えをもつ」、「他者の考えを知る」学習活動において、ファイル共有機能を活用し、自分の立場や考えを色分けした付箋に入力します。
- ・付箋の入力状況を大型提示装置で示すことにより、互いの考えを確かめながら、自分の考えを広げたり深めたりすることができます。
- ・入力後、色分けした付箋を全体で確認し、立場や考えの分布を視覚的に共有したり、友だちの考えを確かめたりすることにより、相互の考えについて根拠に基づいた議論を促すことができます。

【ICTの活用場面②】



〔道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深める〕

- ・「自己を見つめる」学習活動において、他者との議論を通じた道徳的価値の理解を踏まえ、改めて自分の立場や考えを端末に入力し、全体で共有します。
- ・自分の考えを記録、蓄積することにより、児童が改めて自己を見つめ、整理し、自らの変容や成長を実感することができます。
- ・教師が、端末に入力された児童の考えを把握・整理し、意図的に指名したり、問い返したりしながら、全体で共有することにより、児童は自分の考えを一層広げ深めることができます。

道徳科における1人1台端末の効果的な活用

①道徳的価値を多面的・多角的に考える

「自分ならどうするか」という観点から道徳的価値と向き合うとともに、自分とは異なる意見をもつ他者と議論することを通して、道徳的価値を多面的・多角的に考えることができます。**（赤字が端末の活用を想定）**

①自分の考えをもつ

自分の立場や考えを選択し端末に入力する。

②他者の考えを知る

端末で他者の考えを知る。

③他者と議論する

相互の考えについて根拠に基づき、議論する。

④全体で共有する

端末に入力した全体の考えを共有し、振り返る中で考えを深める。

②道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深める

他者との合意形成や具体的な解決策を得ること自体が目的ではなく、多面的・多角的な思考を通じて、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めることができます。**（青字が端末の活用を想定）**

①他者と議論する

他者との議論を通して道徳的価値を理解する。

②自己を見つめる

改めて自己を見つめ、整理し、**端末に考えを記入する。**

③教師が把握する

教師が**端末に入力された児童の考えを把握・整理し、全体に共有する。**

④全体に紹介する

児童の考えを全体に紹介する。

【参考資料】

- ・特別の教科 道徳の指導におけるICTの活用について
(文部科学省)



【スライド資料】



【解説動画】